

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 来年度予算編成の視点と提言について（40分）</p> <p>平成29年11月6日付けで市長名「平成30年度予算編成方針について」（通知）（以下「編成方針」と呼ぶ）が出されています。その日を遡ること1か月と10日前の平成29年9月26日に総合政策部長名で「平成30年度予算編成における留意事項について」通知（以下「留意事項」と呼ぶ）が出されています。</p> <p>(1) 「編成方針」と「留意事項」とのタイムラグについて。</p> <p>(2) 市長の無投票当選について市民の付託があったことは事実ですが、改めてその決意と30年度の予算編成方針は。</p> <p>(3) 総合政策部長の「留意事項」は、極めて厳しいものがあり、職員と市民のモチベーションを下げるものですが、いかがですか。</p> <p>(4) 財源問題について、特に都市計画道路は用地買収を含めて建設工期の延長、各種公共事業についての計画的延伸、国による例えば子ども医療費助成へのペナルティーの廃止を他市とも連携して強く申し入れること、運動公園の償還終了、一本松、若葉駅西口土地区画整理事業終了に伴う財源的展望を示すことなどがありますが。</p> <p>(5) 若い年代の定住策が最も肝要な政策になります。平成29年、平成19年、平成9年（それぞれ10月1日）の人口ピラミッドを分析すると、人口において平成19年は、平成9年との比較（20歳から39歳）で若い世代は伸びています（800人余）。ところが、平成29年と平成19年の比較では6,391人と信じ難いほどの人口減少になっています。</p> <p>このまま推移すると、平成39年にはさらなる減少に見舞われます。失った若者の回帰は容易なことではありません。3期12年の藤縄市政は何であったか、市当局には総括が迫られています。いかがですか。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p data-bbox="185 327 1118 483">(6) 学校給食費無料化、保育料完全無料化、公立保育所の再編、軽視された社会教育の職員を含めた復活とセンターの文化醸成の拠点化、産科医の誘致等を強く打ち出すべきですが。</p> <p data-bbox="169 685 951 723">2 第7期介護保険事業計画について (20分)</p> <p data-bbox="169 745 1118 965">鶴ヶ島市の高齢者人口は年々増え続けています。まもなく27%台に突入します。介護保険制度も大きく様変わりし、医療・介護・国保・福祉が連携される一方、給付が削減され、負担増が迫られています。市の保険料がどうなるかが市民の最も大きい関心事です。</p> <p data-bbox="185 1043 855 1081">(1) 医療計画との整合性の確保をどうするか。</p> <p data-bbox="185 1104 1118 1200">(2) 高齢者の自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の推進が迫られていますが、どうするか。</p> <p data-bbox="185 1223 1110 1319">(3) 我が事・丸ごと地域共生社会の推進が求められていますが、市の「支え合い」の位置づけと機能の発展はあるのか。</p> <p data-bbox="185 1341 727 1379">(4) 第7期の介護保険料の見通しは。</p>	市長